

会 議 録				
平成 20 年度第 3 回 社会教育委員の会議	日 時	平成 20 年 6 月 27 日(金) 午前 9 時 30 分～11 時 30 分	場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室
事務局	小金井市教育委員会生涯学習課			
出席者	委員	伊藤、井土、浦野、倉持、小林、田尻、田中、本川 各委員 (欠席) 武田、彦坂 各委員		
	その他	渡辺生涯学習部長、尾崎生涯学習課長、林スポーツ振興課長、田中図書館長、中嶋公民館長		
	事務局	木村生涯学習係主事、		
傍聴の可否	◎可・一部不可・不可		傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
<p>1. 報告事項</p> <p>(1) 議会報告</p> <p>(2) 平成 20 年度都市社連協第 1 回拡大役員会について</p> <p>(3) 小金井市立図書館複写サービス実施要綱の制定について</p> <p>(4) 東京農工大学小金井図書館との共同事業について</p> <p>(5) デイジー編集初級者講習会の結果について</p> <p>(6) 第 20 期小金井市公民館企画実行委員について</p> <p>(7) その他</p> <p>2. 協議事項</p> <p>(1) 第 5 ブロック代表者会議について</p> <p>(2) 第 5 ブロック研修会について</p> <p>(3) その他</p>				
<p>1. 報告事項</p> <p>(1) 議会報告 (渡辺生涯学習部長)</p> <p>第 2 回定例会は 6 月 5 日から本日まで開催。教育委員会の生涯学習関係では、五十嵐京子議員から、生涯学習推進体制の進捗状況について一般質問があった。総合学習相談窓口の開設、学習・文化・生活情報の収集、コーディネーターの育成と活用、生涯学習推進組織の活用の進捗状況はどうなっているのかというもの。6 月 23 日に行財政改革特別委員会が開催され、野見山委員、鈴木委員、関連で宮下委員、森戸委員から、図書館関係について質問が出た。図書館協議会に、図書館の一部委託化で諮問をした内容について、詳細な質疑応答がされている。この点に関しては、今後も引き続き、質問と資料要求が出るだろう。</p>				

(2) 平成20年度都市社連協第1回拡大役員会について

(尾崎生涯学習課長)

5月23日(金)午後3時から、清瀬市の生涯学習センターで実施された。最初に、社団法人全国社会教育委員会連合会総会について参加報告があった。1号議案、平成19年度事業報告、決算報告について、第2号議案、平成20年度事業計画(案)、収支予算(案)について、第3号議案、第50回全国社会教育研究会(長野大会)開催要項(案)について、第4号議案、第51回全国社会教育研究大会(熊本大会)について、第5号議案、第52回全国社会教育研究大会について、以上の報告があり、議案のとおり承認された。その他として、全国社会教育委員連合会会長より、機関誌『社教情報』の講読依頼と、各委員への寄附金の依頼について報告があった。また、平成20年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会ブロック研修会について、ブロック研修会の事業計画書を6月30日までに提出。そのほか、社会教育委員の研修会については、来年1月ごろを予定している。また、全国社会教育委員会連合の社会教育委員の表彰は6月20日までに提出とのこと。

(3) 小金井市図書館複写サービス実施要綱の制定について、これは図書館長。

(田中図書館長)

図書館では、著作権法第31条で、所蔵する図書館資料について、利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するために、公表された著作物の一部分の複製物を1人につき一部を提供できる。しかしながら、ほかの図書館から借用された資料の場合は、借り受けた図書館の所有物でないため、当該著作権法の対象外とされており、複製することはできない。借用資料の複製を可能にするために、平成18年に、「図書館間協力における現物貸借で借り受けた図書の複製に関するガイドライン」というものが制定された。本日提出した要綱をつくることによって、本市の図書館においても、ほかの図書館から借り受けた資料が複写できるようになる。

(4) 東京農工大学小金井図書館との共同事業について。

(田中図書館長)

平成18年2月19日に、東京農工大学小金井図書館と、図書館の利用に関し、相互協力を結んでいる。その一環として、共同事業の実施を行っている。子どもインターネット教室、大人向けインターネット教室を開催している。昨年は、子ども向け事業に108名、大人向け事業に50名の参加者があった。今年も子どもインターネット教室を8月1、2、3日に開催する。内容は、従来と同様に、検索エンジン・グーグルの使い方やホームページの制作となる。

(5) デイジー編集初級者講習会の結果について。

(田中図書館長)

19年度から、視覚に障害がある方に対して、情報提供の一つの形態として、CD-ROMに図書情報を収録したデイジー図書の作成に取りかかっている。19年度は、録音テープをパソコンに取り込み、ページづけ等の編集をしてCD化を行うという、デイジー編集初心者講習会を実施した。20年度はデイジー初級者講習会を5月16、22、23日の3日間、NPO法人DAISY TOKYOにお願いし、実施した。日ごろから録音朗読に協力いただいている、対面朗読の会の会員10人及び図書館の担当職員1名が参加した。今後、この技術を生かして、デイジー図書の作成に取り組んでいきたい。

(6) 第20期小金井市公民館企画実行委員について

(中嶋公民館長)

第19期委員の任期は平成18年7月21日から平成20年7月20日であるので、第20期の委員候補者の公募を市報5月15日号に掲載し、説明を6月3日火曜日、午後2時から本館で実施、11名の出席があった。各種団体からの推薦と公募による立候補者の届け出を6月13日金曜日、午後5時に締め切った。公民館分館の3館には届け出が各6名、緑分館には届け出5名、本館には届け出8名の合計31名、小金井市公民館企画実行委員選出要綱では、成人教育・文化活動部門の委員数は各館6名以内、5館で30名以内と規定されている。6月17日火曜日午後4時から、本館で候補者調整会を実施し、話し合いの結果、各館6名が決まり、6月20日金曜日の公民館運営審議会にもその旨報告した。その後、本館の候補者1名から辞退届が提出されたため、本館は5名、全29名の企画実行委員となった。今後の予定は、7月8日火曜日の教育委員会定例会に、小金井市公民館企画実行委員の選任に関し同意を求めることについての議案を提出し、同意されたら、7月22日火曜日、午前10時から公民館本館で委嘱状を交付予定。

(田中議長)

再選等の規定はあるのか。

(中嶋公民館長)

連続して3期まで、1期2年、3期までということになっている。今回も、新規の方、2期の方、3期の方もいる。

(7) その他

(林スポーツ振興課長)

第13回東京国際スリーデーマーチに関し、前回の会議で質問のあった、小金井市民の参加者について報告する。市民の参加者数は、申し込みの人数は137人。過去2年はともに約170人ということで、全体の参加者数同様、天候による影響で減少したものと思われる。参考までに今大会の収支決算の資料をお配りした。

(委員)

最初に戻るが、議会報告の中で、図書館関係についての質問が多数あったということだが、どういう質問が出ているのかということと、学校図書館についての質問もあるのかを聞きたい。

(田中図書館長)

手元に資料がないのだが、主に出たのは、国分寺図書館等、他市の図書館を利用できないかということ。また、事業費関係で、正規職員を減らし、非常勤職員を増やしているが、その浮いた額をどのような形で使ったのかという質問もあった。宮下委員からは、図書館の開館時間を早めることについて、もう少し前向きに考えられないかという話があった。資料請求も幾つか出ているので、今回はまたそれを説明できればと思う。

(浦野委員)

5月23日の委員会で出た、社会教育団体の中に東小PTAが単独で加入していることについての回答はいただけるか。

(尾崎生涯学習課長)

社会教育関係団体登録要綱の中の登録に必要な基準に当てはまっていれば問題ないという解釈である。

(田中議長)

議会報告で、生涯学習推進計画の話が出たが、どういった点が議会で話題になったのか

(尾崎生涯学習課長)

第一次生涯学習推進計画が、20年度で5か年が終了するというので、これを見直し、できている部分とうまくいっていない部分を見直し、今後できていない部分について実施をめざして行って欲しいとの話だった。

(田中議長)

小委員会でも、第1次の推進計画の反省点等を踏まえ、分析をして第二次計画を作っていく必要がある。

(田中図書館長)

子ども読書活動推進計画について議会で質問があった。詳細は次回報告する予定だが、子ども読書活動推進計画第1次が20年度で終わる。第2次推進計画を策定しなくてはならないが、それについてどう考えていくかということも質問があり、庁内検討委員会と専門部会を立ち上げて検討し、21年度から5年間の計画をつくっていく予定。

(田尻委員)

子ども読書推進計画だが、23年度から新しい学習指導要領がスタートし、改訂に伴い、言葉と体験というのが大きなキーワードになっている。子どもたちがぞんざいな言葉を使う、自分の思い・考えを適切な言葉で表現できない、語彙が乏しいといっ

た問題、心の豊かさ・思いやりの心が不十分なところがある。語彙を豊かにするということは、想像力を高めることで、各学校でも力を入れて取り組んでいく。学校図書が、学級数に応じて文科省が基準値を示しており、その割合が小学校では100%超えている。ただ、問題はその中身である。古い本がたくさんあり、新しい本を学校図書の中に入れていくことが読書を活発にしていく上で重要。そのあたりを踏まえながら、21年度からの推進計画を策定していただきたい。

2. 協議事項

(1) 第5ブロック代表者会議について

(尾崎生涯学習課長)

ブロック代表者会議は、第5ブロックの各市の議長に集ってもらい、ブロック研修会についての協議をしてもらおう。その日程を決めていただきたい。

(委員)

8月に入ると、大体どこの市も、社会教育委員の会議等は休みになり、動きがなくなることが多いようだ。7月下旬ぐらいに実施できると良い。

(田中議長)

それぞれのブロックの議長、市の担当の係が来ると思うが、今回は第5ブロックの研修会が小金井市で行われるので、できれば小金井市の社会教育委員にできるだけ参加して欲しい。そこで、日程調整をしたいが、いつぐらいがよいか。全員が参加できるというのは難しいと思うが、従来だと、2時とか3時という時間に開始している。

[協議の結果、7月28日(月)15時~に決まった。]

(2) 第5ブロック研修会について

(田中議長)

日時を確定し、内容を詰めたい。統一テーマは既に決まっており、「いきいきと学び、地域に貢献する社会教育」、副題が、「～世代を越えて文化・情操を高めあうまちづくり～」。小金井市のサブテーマは、私が書いたものが、縦糸と横糸をどうやって紡ぐのかということだが、彦坂さんのほうからファクスをいただいて、それが「きらめきの生涯を目指して、学びの縦糸に、思いやりの心でつむぐ街づくり」。

(小林委員)

サブテーマというのはつけなければならないのか。

(田中議長)

つけてもつけなくてもいいと思うが、一応、大きいテーマがあるので、広い視点から絞っていくという感じで、趣旨説明の中に入れてもいいのではないかと。

(倉持委員)

サブテーマは、他市の方に対して何をやるのかが端的にわかるものがよいのではないかと。統一テーマはあまりにも広過ぎるので、ある程度中身がわかる形のもののほう

が親切。縦糸が何で横糸が何かということは、比喩なので、ちょっとわかりづらい。資料の中にも「イメージ：ミニ小金井市地域教育会議」と書いてあるけれども、これは非常に中身としてはわかりやすいのではないか。

(田中議長)

確かに抽象的である。～世代を越えて文化・情操を高めあうまちづくり～というテーマがあり、小金井市としてはミニ小金井市地域教育会議というものを引用しながら、その人たちをどうやってつないでいくか。平成15年の提言の、学校週5日制に伴う地域教育力の活性化という趣旨を生かし、平成19年度に地域教育会議の創設を提言しているということがあるので、実際に、ミニではあるが、地域教育会議をイメージしながらやってみたい。地域教育会議というのはこういう流れで来たという説明をし、最初の小さなステップをブロック研修会で皆さんと一緒に考えてみたい。

[サブテーマは「ネットワーク構築のためのミニ地域教育会議（仮）で提出することになった。』

(田中議長)

期日は10月25日の土曜日、午後1時半でよいか。場合によっては、2時ぐらいになるかもしれないが午後で考えており、概ね2時間程度。研修の後に、博物館50分ぐらいで見学し、3時間以内で終わるようにしたい。また、資料の「参加市および人数」で、三鷹市が抜けているので、追加してほしい。また、社連協の拡大役員会で確認したが、もし研修会を一般の方が傍聴したいというのであれば、やっていただければよろしいのではないかということだった。クローズされたものではないそう。開催場所は、東京農工大学の科学博物館。博物館の見学をするのであれば、説明の方をつけてもらえる。

(本川委員)

会場の定員は何名か。

(田中議長)

講堂での開催を予定しているが、いすを持ち込む形なので、普通であれば五、六十名。周りにいすを入れるともう少し増える。

(伊藤委員)

講義棟を拝借できれば、椅子の配置等を変えないでやれるので一番よい。

(田中議長)

講義棟も可能だと思う。

(本川委員)

各市と私たちだけで50名以上になってしまう。できるだけ地域の方にも呼びかけ、地域教育会議を理解してもらい、関係者にこれから発展する方向を考えてもらう意義のある会議になればよいと思う。

(田中議長)

私も講堂を見てきたが、いすをどれだけ入れるかによってもうちょっとキャパシテ

イーがあるかもしれない。詳細を聞いてみる。

「研修会の内容」ということで、シンポジストを何人か選んでほしい。一番大切なのは、シンポジストをどうやって選ぶか、どういう人たちに話してほしいか。公民館関係は、実際に企画実行委員という小金井市のすばらしい制度で、いろいろ企画をして、地域の方にサービスを提供していく方がいる。協議会にお願いしたら出してもらえるか。
(中嶋公民館長)

公民館運営審議会・企画実行委員、両方を経験しているという方もいる。呼びかけてみたい。

(田中議長)

図書館関係からもぜひ1名出してほしい。図書館関係者だと読み聞かせ等のボランティアの方でもよいのではないか。

(田中図書館長)

図書館協議会が来月開かれるので検討したい。協議会の中には公募市民もいるので。

(田中議長)

学校関係者は学校の先生あるいはPTA。学校が何か事業をする場合、地域から人を探してくるときに、苦勞されたという話があったが、そのようなネットワーク構築の点について話して欲しい。田尻委員に話してももらってはどうか。

(田尻委員)

構わないが、ここに小学校と中学校と書いてあるけれども、クラブ活動等の面では中学校の関係者のほうがよいのでは。小学校の場合は、地域の人たちが学校に入ってくる。中学校は逆に、中学生が地域に出ていく。この両方を小中で今やっているところ、私は一番いいかと思う。ボランティア活動等、子どもたちの地域での活動振りを紹介できるよう中学校にも校長会で声をかけてみたい。

(田中議長)

放課後子どもプランのコーディネーターについては生涯学習課を通して依頼して欲しい。次に、体協スポーツ関係者だが、小学生の野球やサッカー、中学生のクラブ活動等、スポーツに係わった人、指導をしている人から探したい。

(林スポーツ振興課長)

部活動の指導者等は難しい。我々と関わりがあるのは体協やスポーツ関連の団体になる。

(田中議長)

スポーツ少年団で指導している方等に一度話を持って行って、どなたか話してもらえるか聞いてみる。

芸術関係者に関しては、井土さんに探してもらってはどうか。

(井土委員)

子どもたちに芸術関係のことを教えるということは割と少ない。子どもたちと係わるというところでは、文部科学省委嘱事業で、伝統文化こども教室を本町小学校で十

失しており、今年で3年目になる。保護者からも好評で、前の年が終わらないうちに、来年もという声がかかるほど。日本の伝統文化というものに触れる機会が少ないので、子どもにこういったものに触れさせたいという親御さんの気持ちじゃないか。

市に登録している社会教育団体が102あるが、その中に文化協会という協会もあり、こちらはNPO。写真、書道、絵、踊り、彫刻等がある。その他にも文化・芸術関係で人数の少ない団体等様々登録があると思うが、果たしてそれが、地域教育会議で言う芸術関係者になるかどうかはわからない。

(田中議長)

本町小学校での生け花教室を紹介していただけないか。人選も含めて、話していただける方の紹介を井土さんをお願いしたい。

(本川委員)

貫井囃子等の伝統文化のこともちょっと話の中に入れてもらい、外にもこういう活動もしているというような紹介があるとよい。

(田尻委員)

昨年度は本町小と四小で5年生を対象にして、出前授業のような形で、貫井囃子の歴史や、実際に使っている道具の説明、踊りの指導をしてもらったり、糸操り人形を実際に体験したりしている。そういった取り組みも始まっているので、芸術、伝統ということで、そのあたりも話の中に入れて進めていただいたらよい。

(倉持委員)

これは一人当たり8分くらいで皆さんに報告してもらおうのか。

(田中議長)

イメージとしては、発言要旨をA4で1枚つけ、要点をまとめて配付する。活動内容と自分たちの抱えている問題、その改善策に重点を置きたい。1時間ぐらい、パネリストから発言、1時間ぐらいをフリーディスカッションにしたい。

(本川委員)

1人の方が10分とか8分しゃべった部分をずっと聞いて、それが6人続くと大変。ポイントごとに1人の方の発言に偏らないような形で振っていけば変化があってよいのではないか。

(伊藤委員)

人数が多いと際限ない。また、進め方としては、1人の方がまとめて話すのではなく、コーディネーターが項目ごとにそれぞれのシンポジストに話を振っていったほうがよい。

(倉持委員)

シンポジストを決定する際、男女比についても極端な偏りのないよう考慮して欲しい。

(田中議長)

今回は、6人程度のシンポジストに話をさせていただくという格好でよいか。あまり

広げてしまうと収拾がつかなくなるかもしれない。シンポジストは先ほどお願いした方に推薦していただくという形で、次回までに名前、経歴等、教えて欲しい。

(浦野委員)

お願いするに当たっては直接個人的にお願いして、話を決めてよろしいのか。

(田中議長)

正式には、後ほど書面等で依頼をするが、その前段階として、こういう形で話してほしいという説明をして内諾を取って欲しい。

(木村生涯学習係主事)

シンポジストの方に謝礼等の支払いは行う予定か。予算の使い道は。

(田中議長)

車代くらいしか出せないのではないか。シンポジストの方たちの懇親会費用をこちらで負担し、懇親会にも出席していただくという形でどうか。

(委員)

そのほうが良い。車代は無料で、懇親会も無料にする。もらっても困る場合もある。多分こういう関係の方は、そういった思いを持つ方が多いのではないか。

(田中議長)

ブロック研修会の予算の使い道については、規定等があるのか。

(木村生涯学習係主事)

特別な決まりはないと聞いている。講師謝礼に全額支出しても、消耗品やお茶代等に支出しても問題ないようだ。

(井土委員)

会場費は幾らなのか。

(田中議長)

無料と聞いているが確認したい。協力という形で、どこかに大学の名前を入れておけば、大学にとっても地域貢献に繋がるのでよいのではないか。

中身についてだが、A4の1枚のものにまとめていただければと思い、活動状況・問題点や希望・改善点の提案の3点を挙げたがどうか。

(小林委員)

問題点を箇条書きでも良いのでたくさん挙げてもらうくらいのほうが、お互いの助け合いや支援につながるのではないか。

(倉持委員)

問題点とかを出したときに、これをこうしてほしい、ああしてほしいというような要望だけが出てきてしまうと趣旨から外れていってしまう。施設上の問題等は実際には非常に大きな点ではあるが、それだけだとなかなか議論が発展しない。もちろんそういう意見を出しではいけないというわけではないが、そこに重点があるのではないという理解は必要だろう。

(田中議長)

既存の施設やお金のことに関は、金銭的なもので解決できてしまうものではない問題点や悩み、ちょっとした工夫で、もしかしたらできるかもしれないような問題点も出してほしい。例えばここにグラウンドが1つあればすべて解決してしまうとか、ここに人を3人配置すれば終わってしまうということだけではなく、現状の中で、本当にもう一歩行けば何とかかなりそうな問題点が挙がるとよい。いろいろな問題点を提示してもらい、意見交換をしてほしい。

以 上